

ハイライトよねやま 44

<10月は米山月間>

(財)ロータリー米山記念奨学会
2003年10月10日発行

1. 寄付金速報 ~いよいよ米山月間です！

9月までの寄付金は、前年同期と比べ3.1%減、約1千2百万円の減少です。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が6.8%減です。10月に入り米山月間となりました。表彰制度改定にともない、米山功労者の感謝状も美しくモダンなデザインに刷新しました。長らくお待たせいたしました。10月中旬から順次お送りいたします。ぜひとも、寄付増進に向けて新表彰制度のPRをよろしく願いいたします。

2. 今月の“よねやまだより”は特別座談会

ロータリーの友10月号の“よねやまだより”は、米山月間特集として、特別座談会と各種統計データを掲載しています。座談会では、米山学友・大学の指導教員・ロータリアンという異なる立場の三者が集い、米山奨学事業の目指す「知的国際貢献」としての役割を考える熱い議論が展開されました。留学先としての日本の魅力は？留学生が日本の大学に与えるインパクトは？そもそも「知的国際貢献」とは何なのか？これからの米山奨学事業を考える一つの機会として、ぜひご一読ください。

3. 日韓親善会議で米山学友・奨学生が大活躍

9月25～26日に東京ベイホテル東急にて「第7回ロータリー日韓親善会議」が開催されました。26日午後のフォーラム『聞こえますか。日韓新世代の交流』では、3名の米山学友がパネリストとして参加しました。20代、30代、40代という異なる世代の視点を反映した米山学友のプレゼンテーションは、それぞれ切り口は違いますが、新しい日韓交流の始まりを両国の聴衆に印象づけるものでした。会議出席者からも高く評価され、フォーラムの最後には、パネリスト全員に惜しみない拍手が送られました。なお、25日の開会式、懇親夕食会では、現役の米山奨学生が逐次通訳として参加しました。

4. 懸賞論文入賞者 決定！

第1回米山奨学会学友会セミナーの開催に先駆けて、外国人留学生を対象に募集した懸賞論文の入賞者15名が、9月13日に決定いたしました。280点もの応募の中から選考委員会による厳正な審査を経て最優秀賞に輝いたのは、母国・中国の大学で教鞭をとる米山学友・鄭愛莉さん【96-97年/京都紫野RC】の論文『平和と国際貢献 小さな舞台』です。優秀賞には、群馬県在住の米山学友・路潔さん(中国)他3名、入賞には、東京大学在学の現役奨学生・ヴォ・チョン・ギアさん(ベトナム)他4名、入選には5名の方が選ばれました(詳しくは、ホームページをご覧ください)。入賞者のうち、現役米山奨学生は4名、学友が5名、残り6名は一般応募者です。入賞論文集は、10月11日の学友会セミナー報告とともに紀要にまとめて配布する予定ですので、どうぞお楽しみに！

表彰制度を改定しました！
新年度から累計十万円毎に米山功労者として表彰いたします。詳しくはホームページをご覧ください。

5 . 2002 年度寄付総額第 1 位！ ～東京五反田 R C の寄付増進事例～

東京五反田ロータリー・クラブ(2750 地区)は、2002-2003 年度の寄付総額が約 633 万円で年間寄付額第 1 位になりました。長引く不況でどのクラブも寄付増進には苦心される状況の中、東京五反田 R C の成功の秘訣はどこにあったのでしょうか。同クラブの村口 正パスト会長にお話を伺いました。

Q 1 : 寄付総額第 1 位につながった貴クラブの取り組みは、ずばり何でしょう？

A 1 : 始めから目指していたわけではなく、結果としてたまたま 1 位になったというのが本当のところですが、もちろん、これだけの寄付が自然に集まったわけではありません。当クラブでは、ニコニコ会計にルールを設けて、特別会計基金を作ったことが寄付増進に功を奏しました。

Q 2 : どのようなルールを設けられたのですか？

A 2 : まず、クラブで会計処理基準を定め、ニコニコ会計を作りました。これは、最初から奉仕基金造成を目的としたため、奉仕活動以外では使用禁止とし、親睦会の費用などには支出させませんでした。このおかげで奉仕の基本金ができ、米山奨学会への支援をはじめ、三宅島救済活動、青少年交換などが行えたのです。

Q 3 : 米山奨学会への厚いご支援は、どのような理由からでしょう？

A 3 : 米山奨学制度は、日本のロータリーが世界に誇れる奉仕プログラムであると認識するからです。また、米山奨学会への寄付には免税措置が受けられるメリットもあり、寄付が増えたと考えます。

Q 4 : 米山奨学生に対するイメージは？

A 4 : クラブ会員は、優秀な米山奨学生に対して、非常に良いイメージを持っています。クラブとしても奨学生関係国を訪問するなどして交流や親善を深めており、良い結果が得られていることも一因でしょう。

ということで、今回は、ニコニコ会計を「奉仕基金」に活用された東京五反田 R C の事例をご紹介します。今後も米山奨学会では、学友の活躍や寄付増進の工夫など、皆様にお役立ていただける情報の発信に努めてまいりますので、ぜひ情報やご意見などお寄せくださいますようお願い申し上げます。

(財)ロータリー米山記念奨学会 担当：峯^{みね}
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館ビル 8 階
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp